



---

# AWS Summit

Tokyo

---





---

# AWS Elastic Beanstalk, AWS OpsWorks, AWS CodeDeploy, AWS CloudFormation を 使った自動デプロイ

アマゾン データ サービス ジャパン株式会社  
ソリューションアーキテクト  
舟崎 健治



## ■ Gold Sponsors



Empowered by Innovation



## ■ Global Sponsors



## ■ Silver Sponsors



野村総合研究所



## ■ Bronze Sponsors



## ■ Global Tech Sponsors



## ■ Logo Sponsors



ハッシュタグ **#AWSSummit**  
で、皆さんのツイートが展示エリア  
の大画面に表示されます



公式アカウント **@awscloud\_jp**  
をフォローすると、ロゴ入り  
コースターをプレゼント



【コースター配布場所】

メイン展示会場、メイン会場1F受付、デベロッパーカンファレンス会場



# 自己紹介

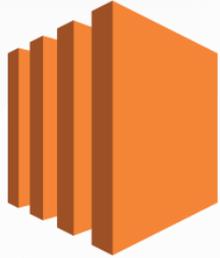
- 舟崎 健治（ふなさき けんじ）
- 担当
  - アマゾン データ サービス ジャパン株式会社  
ソリューションアーキテクト
  - 業種を問わず幅広くAWS利用をご検討される  
お客様をサポート
  - AWS初心者向けWebinarを企画・運営中
- 好きなAWSのサービス：AWS OpsWorks



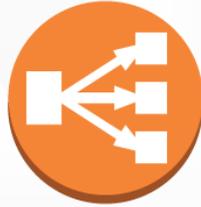
# Agenda

- Introduction
- AWS Elastic Beanstalk
- AWS OpsWorks
- AWS CodeDeploy
- AWS CloudFormation
- まとめ

# Introduction



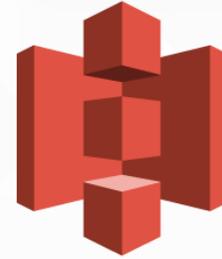
Amazon  
EC2



ELB



Amazon  
RDS



Amazon  
S3



AWS Elastic  
Beanstalk



AWS  
OpsWorks

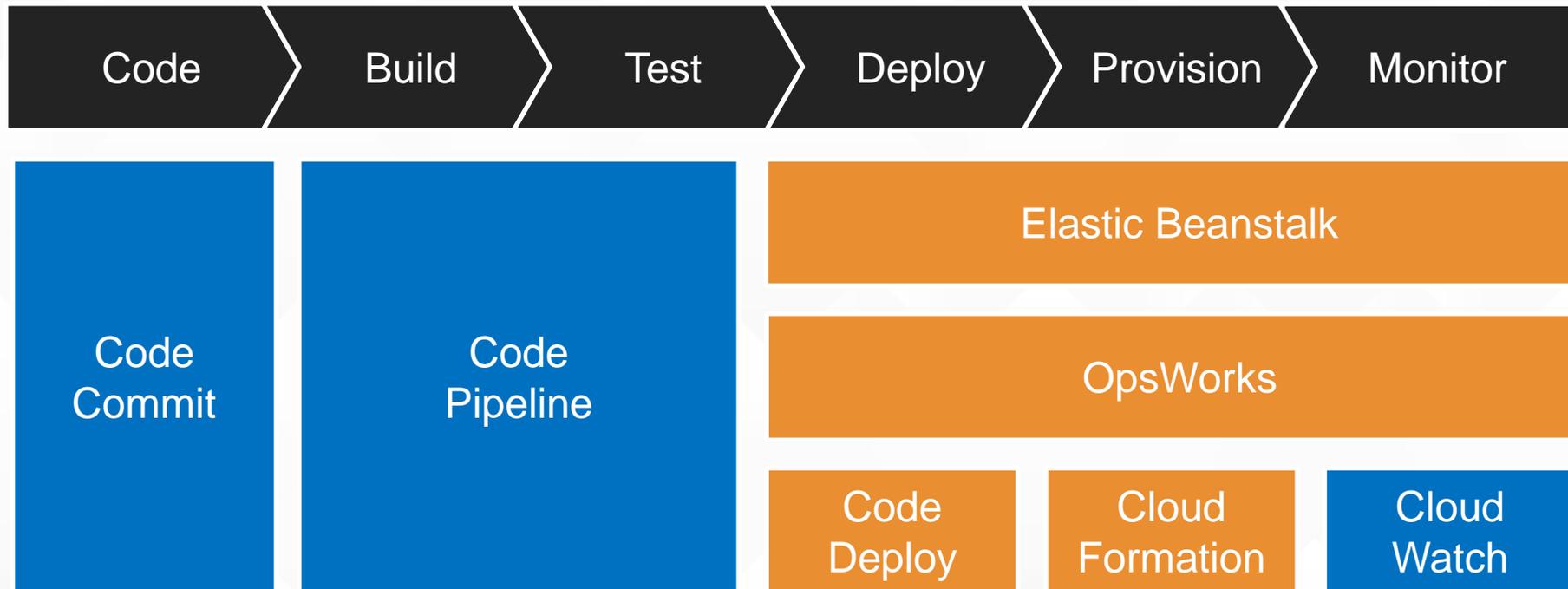


AWS  
CodeDeploy



AWS  
CloudFormation

# AWSから提供されているデプロイ&マネージメント 関連サービス



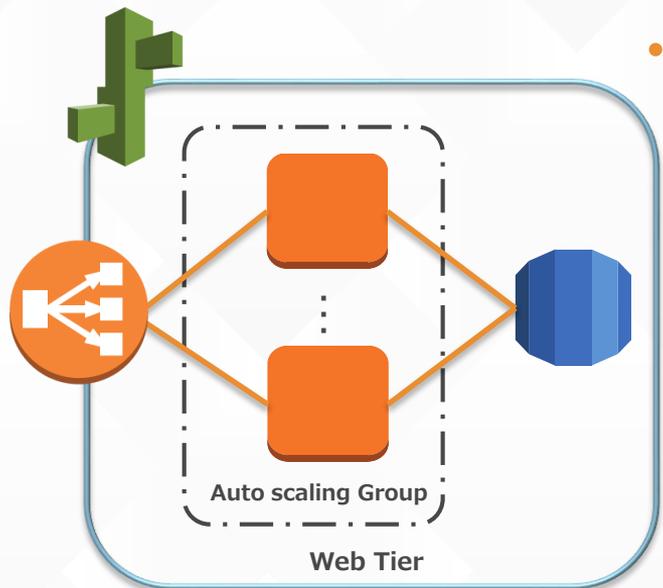
# AWS Elastic Beanstalk



## 定番構成の構築・アプリデプロイの自動化サービス

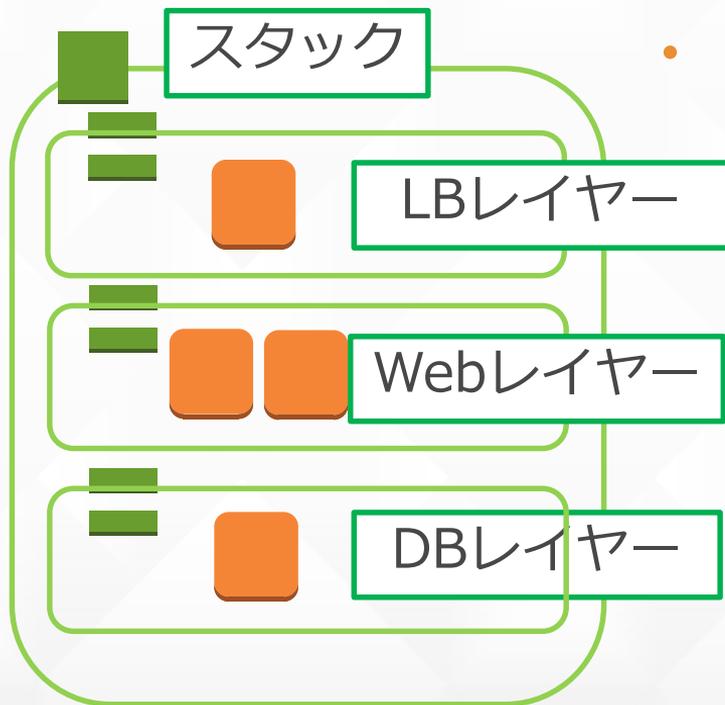
### ・ 特徴

- 速く簡単にアプリケーションをデプロイ可能
- インフラストラクチャの準備&運営からアプリケーションスタックの管理まで自動化
- Auto Scaling によりコストを抑えながらスケーラビリティを確保
- Java, PHP, Ruby, Python, Node.js, .NET, Go, Docker などに対応





## 多様なアーキテクチャをサポートするデプロイ・管理サービス



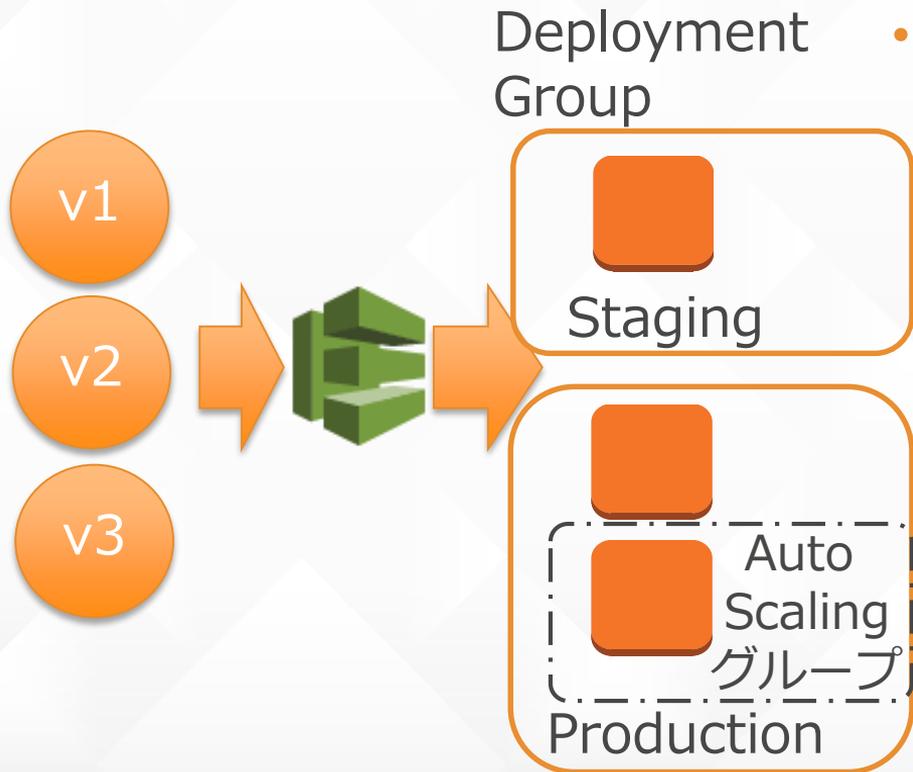
### 特徴

- Chefのレシピを使って、デプロイや運用タスクを自動化可能
- ライフサイクルイベントにより動的な構成変更への対応が可能
- 継続的な構成管理

# AWS CodeDeploy



## アプリケーションデプロイに特化したサービス



### • 特徴

- Amazon.comと同様の仕組みで、管理されたデプロイを実現
- エージェントをインストールするだけでEC2でもオンプレミスでも管理可能
- グループ内に、一度にデプロイしたり1台ずつデプロイしたりと設定可能

# AWS CloudFormation



## 設定管理 & クラウドのオーケストレーション サービス

 テンプレート

スタック



Auto Scaling



### 特徴

- テンプレートを元に、EC2やELBといったAWSリソースの環境構築を自動化
- JSONフォーマットのテキストで、テンプレートを自由に記述可能

# 各種サービスを使ったWordpressのデプロイ手法



WORDPRESS



AWS Elastic  
Beanstalk



AWS  
OpsWorks



AWS  
CodeDeploy



AWS  
CloudFormation

プロビジョニング

デプロイ

環境のカスタマイズ

各種サービスを3つの観点からご紹介

# WordPressとは

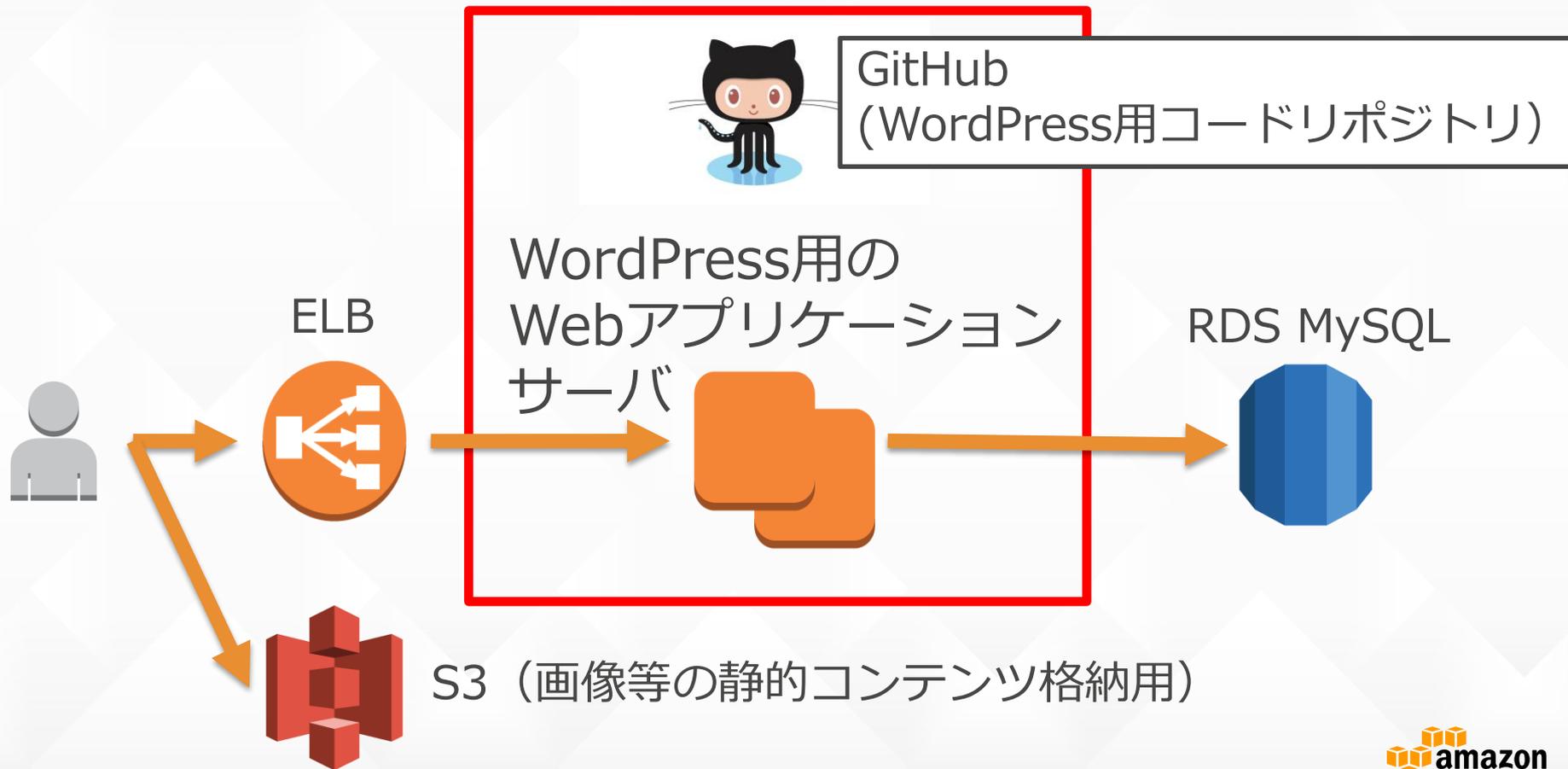
- オープンソースのブログ／CMSプラットフォーム
- 動作環境
  - PHP
  - MySQL



WORDPRESS



# 構築するシステムの構成イメージ



# 注意事項

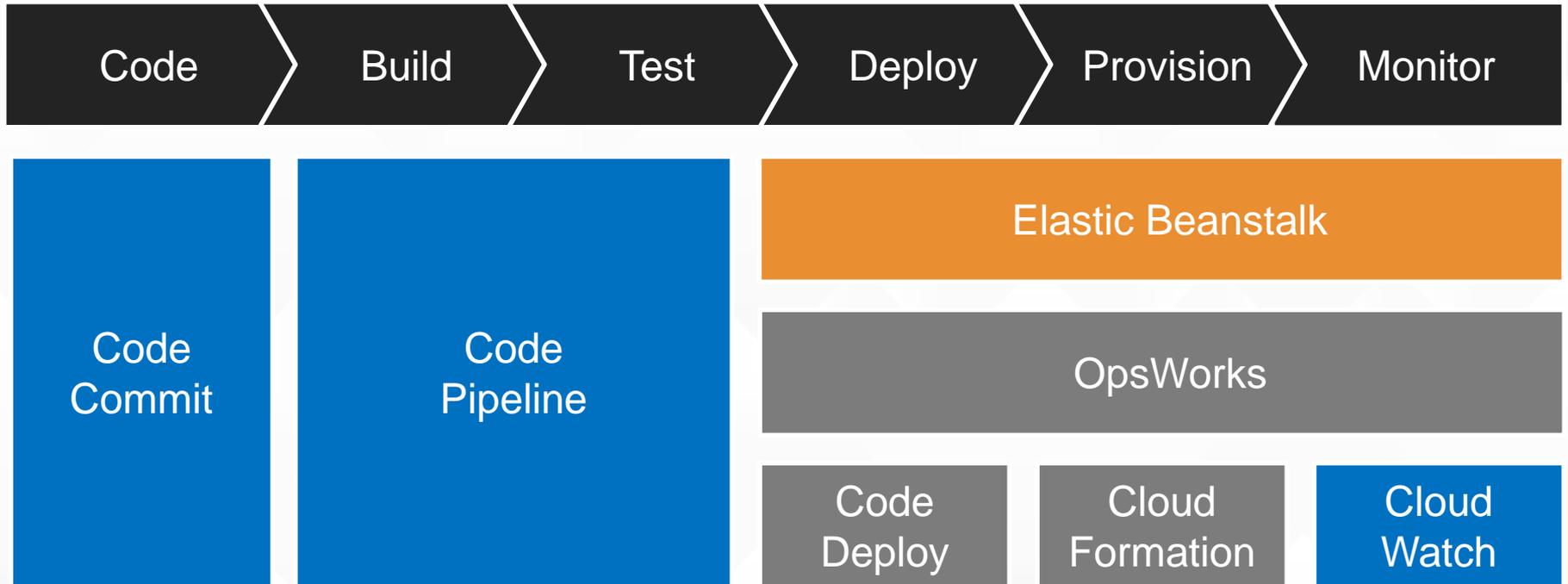
- どのAWSデプロイメント&マネージメントサービスがベストであるかをお伝えする内容ではありません。
- 特定のWebアプリケーションのデプロイを各種サービスで実行する手法をご理解頂くことで、サービス選定の一助となれば幸いです。



# AWS Elastic Beanstalk



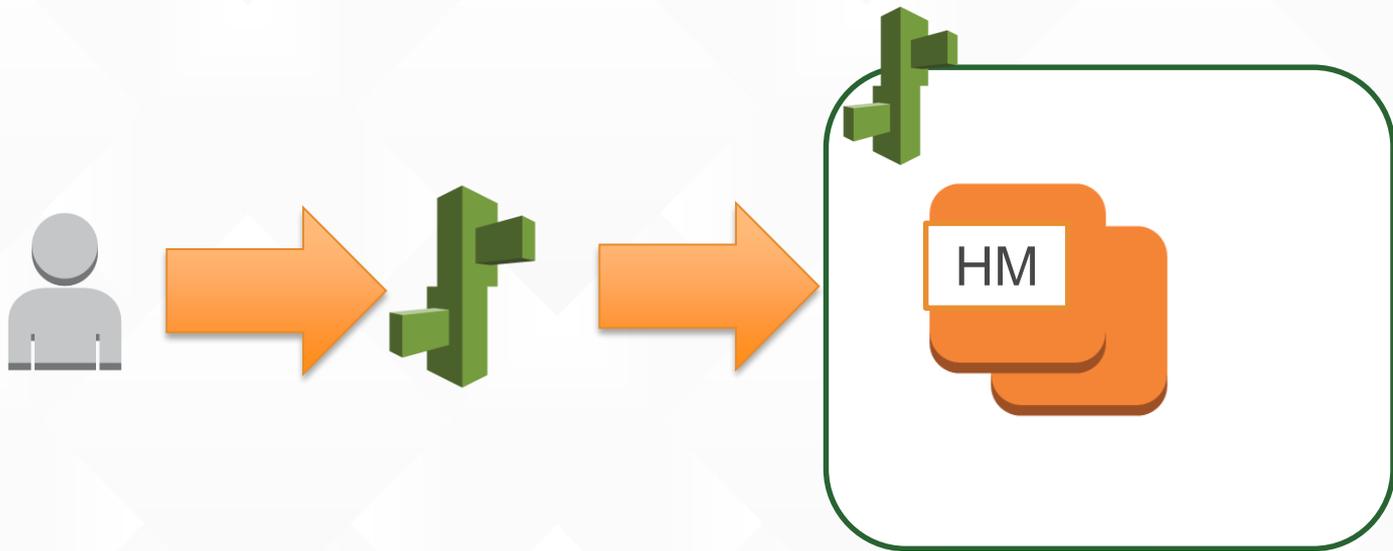
# AWS Elastic Beanstalk





# AWS Elastic Beanstalkによる プロビジョニング

プロビジョニング

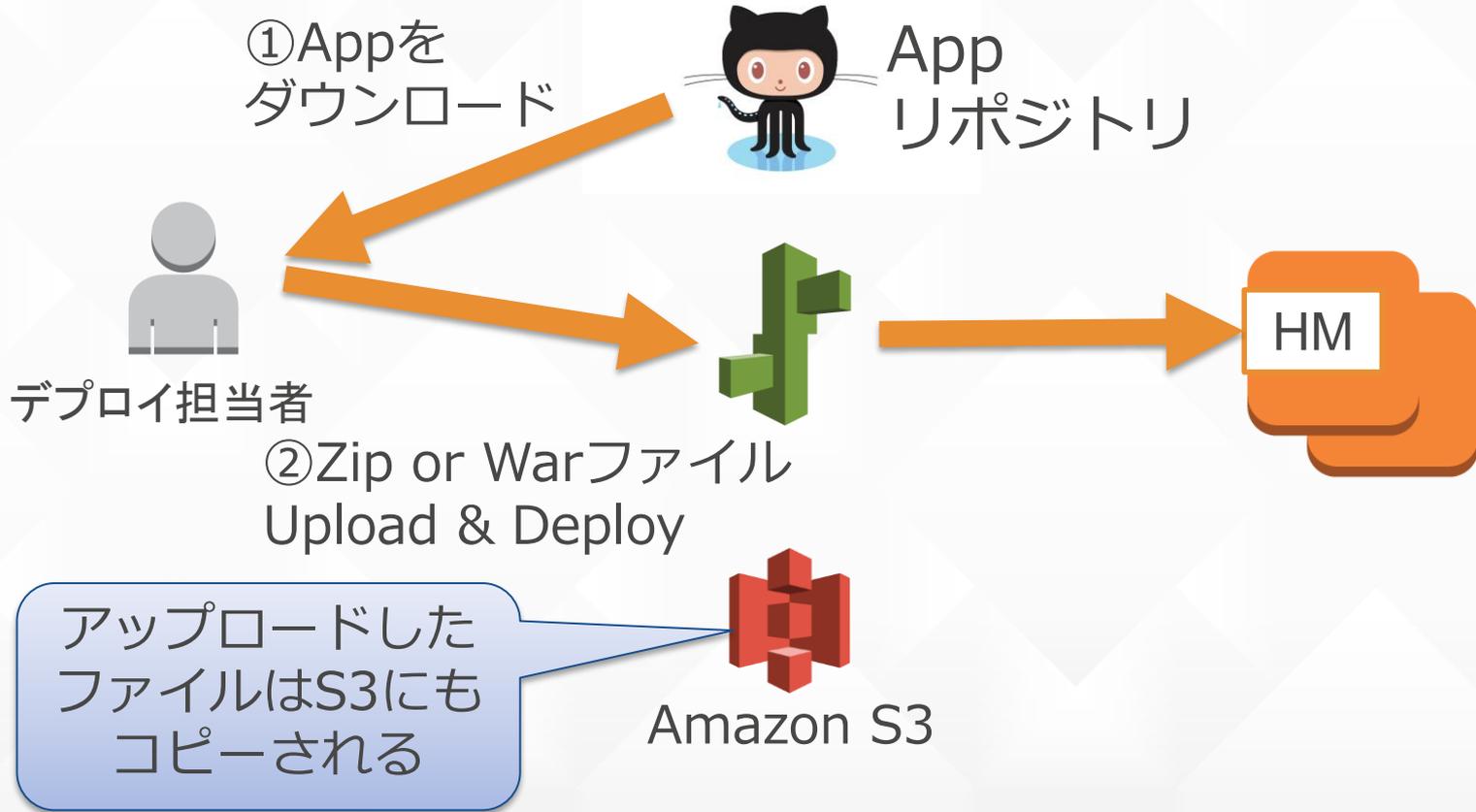


EC2インスタンス内部で  
Host Managerが動作



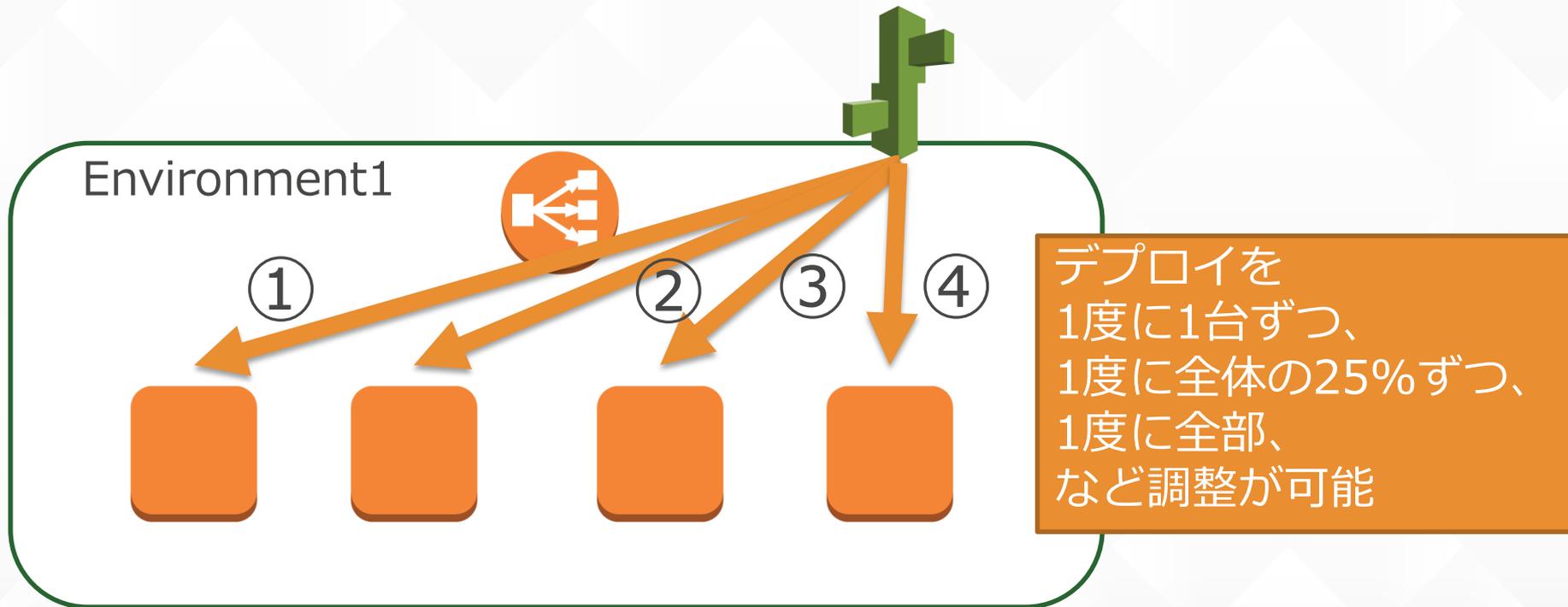
# AWS Elastic BeanstalkとGitHubを使ったデプロイ

デプロイ





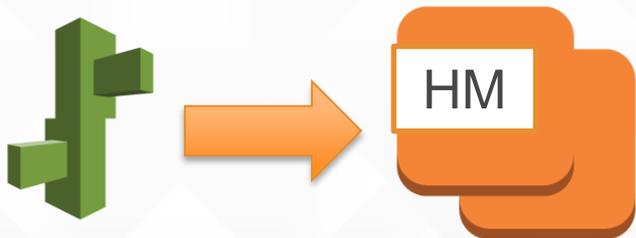
# AWS Elastic Beanstalkを使った 順次バッチ処理でのデプロイ



# アプリケーションコンテナを カスタマイズ

環境のカスタマイズ

- Elastic Beanstalk Configuration Fileで動作中のコンテナをカスタマイズ
  - 独自AMIを用いなくても必要なコンポーネントの追加が可能



```
packages:
```

```
  yum:
```

```
    git: []
```

yumでgitをインストールしつつ、特定のシェルスクリプトを実行する例

```
commands:
```

```
  01prepare:
```

```
    command: "scripts/prepare.sh"
```



# 環境設定のRolling Update

Auto Scalingグループ内にあるインスタンスの置換えを伴う操作を一部ずつ実行(\*)

- 内部的にはCloudFormationのUpdate Policyを利用

Rolling Updates

The following settings control how changes to the environment's instances are made.

Rolling Updates enabled:

Max batch size:  The maximum number of instances to be replaced in a single batch.

Minimum instances in service:  The minimum number of instances that should be in service at any given time.

Pause time:  Hour  Minutes  Seconds The time to wait between changes to a batch of environments. Must be an hour or less.

一度に入れ替えるインスタンスの最大数

最低限維持すべきインスタンス数

各Update操作間のPause時間

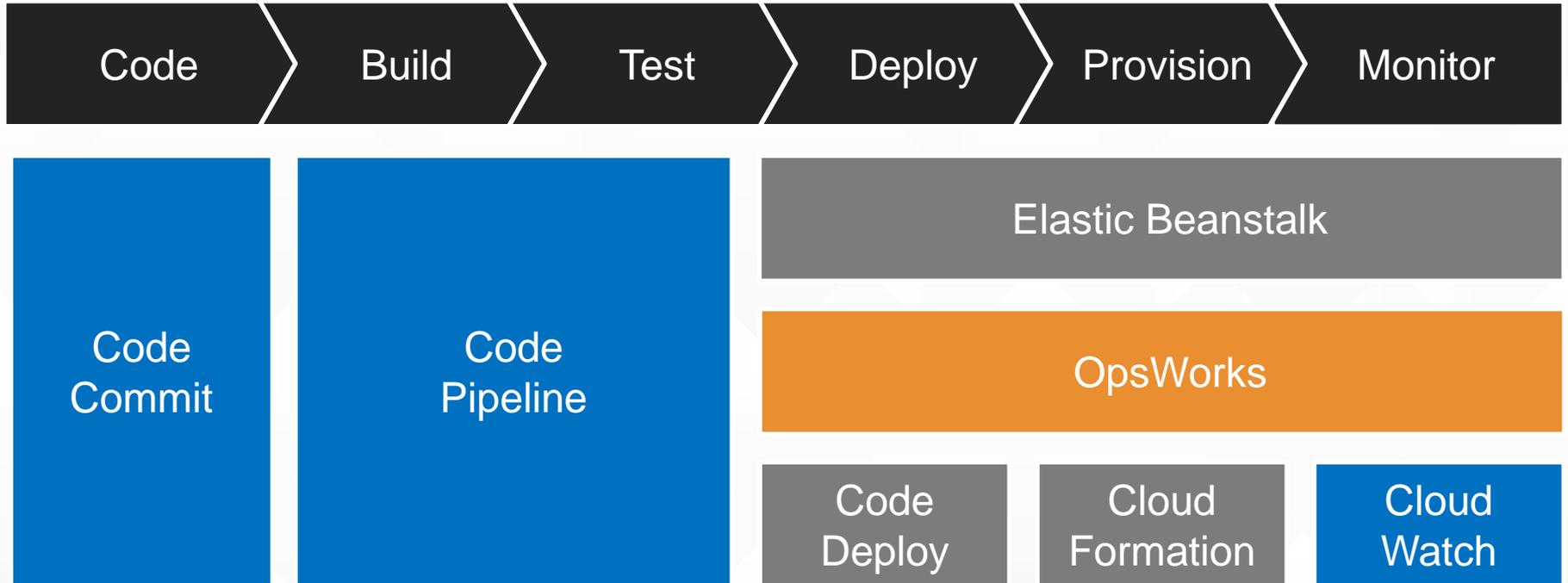
(\*) デプロイの場合は、前述の順次バッチ実行を活用



# AWS OpsWorks



# AWS OpsWorks





# AWS OpsWorksによる プロビジョニング

プロビジョニング

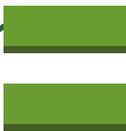
① PHP App Serverレイヤーを作成

② PHP App Serverレイヤーにインスタンスを追加

③ インスタンスを起動



④ OpsWorksエージェントが  
自動インストールされる



PHP App  
Serverレイヤー

⑤ エージェントが  
レシピをダウンロード  
して実行

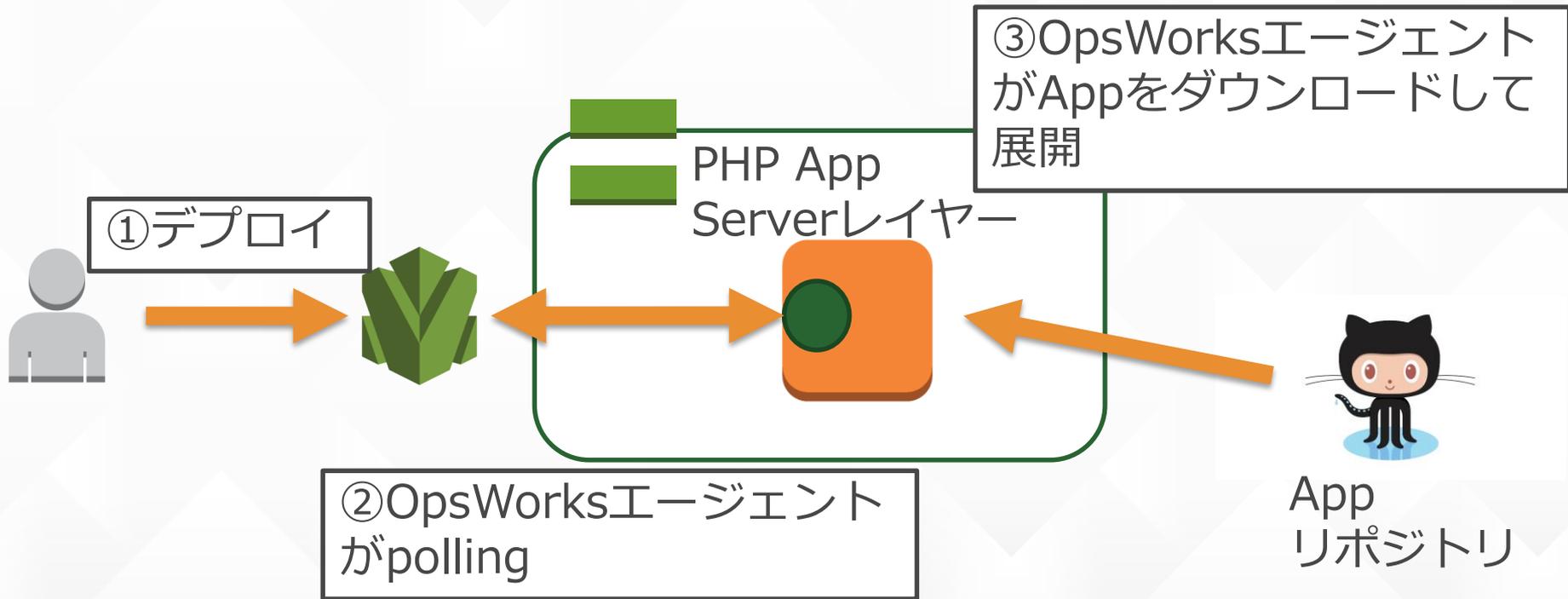


Cookbook  
リポジトリ



# AWS OpsWorksによるデプロイ

デプロイ



# AWS OpsWorksのデプロイJSONを使った構成情報の取得

```
"deploy": {  
  "wordpress": {  
    "database": {  
      "host": "dbhostname",  
      "database": "dbname",  
      "username": "awsuser",  
      "password": "mypassword",  
    }  
  }  
}
```

deploy JSONの例

レシピから取得する例

```
dbhost = node[:deploy][:wordpress][:database][:host]  
dbname = node[:deploy][:wordpress][:database][:database]  
dbuser = node[:deploy][:wordpress][:database][:username]  
dbpass = node[:deploy][:wordpress][:database][:password]
```

# AWS OpsWorksの5つのライフサイクルイベント

Setup

Configure

Deploy

Undeploy

Shutdown

## Built-in Chef Recipes ⓘ

We have defined 20 built-in Chef recipes for this layer. [Hide](#) «

10 Setup

opsworks\_initial\_setup ssh\_host\_keys ssh\_users mysql::client

opsworks\_ganglia::client mysql::client dependencies mod\_php5\_

5 Configure

opsworks\_ganglia::configure-client ssh\_users agent\_version mod\_

2 Deploy

deploy::default deploy::php

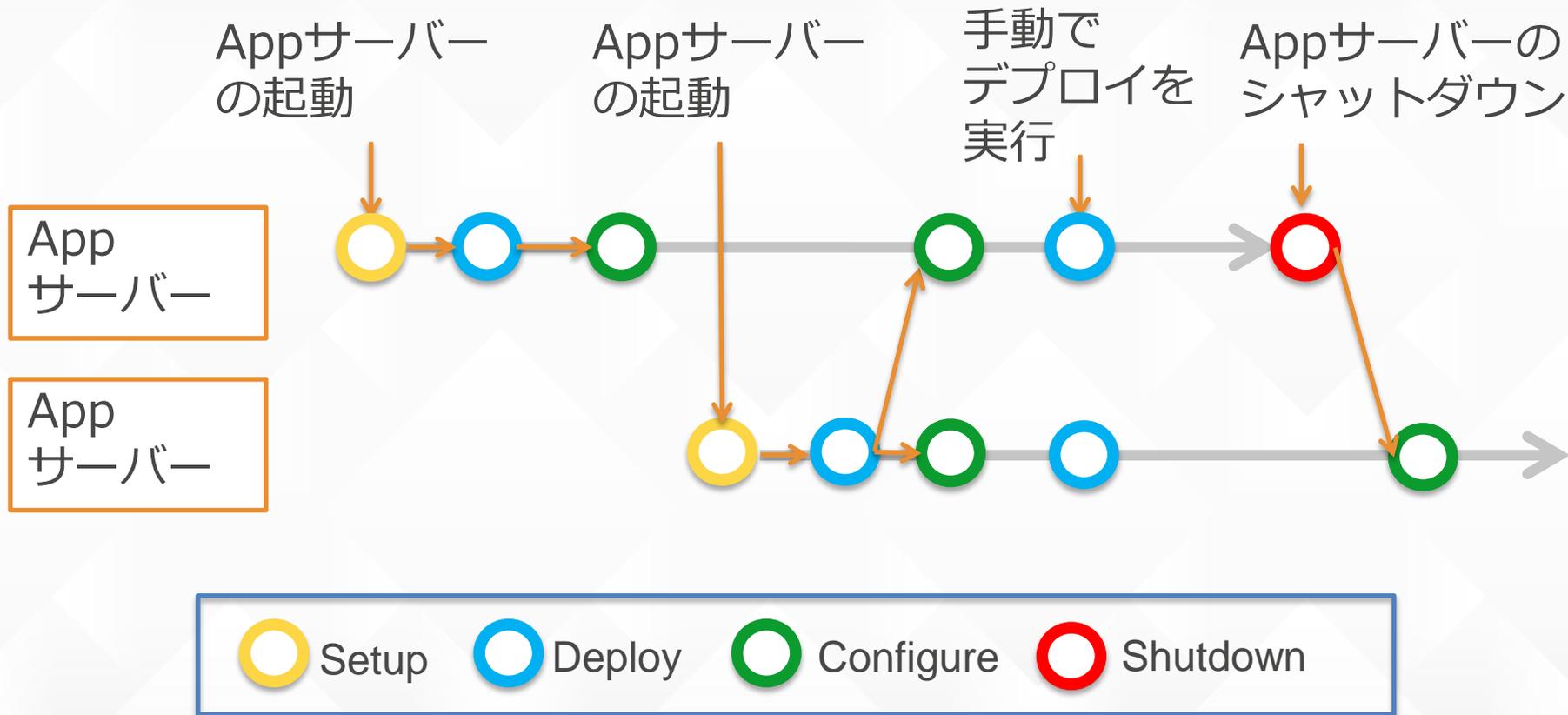
1 Undeploy

deploy::php-undeploy

2 Shutdown

opsworks\_shutdown::default apache2::stop

# ライフサイクルイベントによる自動デプロイ



# 環境のカスタマイズ

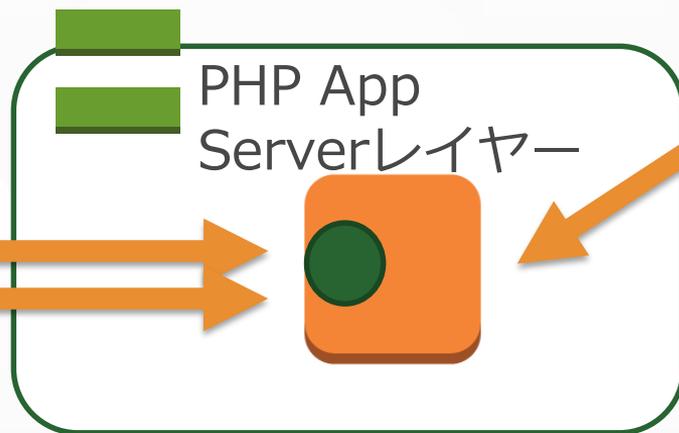
## 環境のカスタマイズ

① レシピを修正して  
リポジトリにpush



Cookbook  
リポジトリ

② インスタンス内の  
カスタムCookbookの  
更新

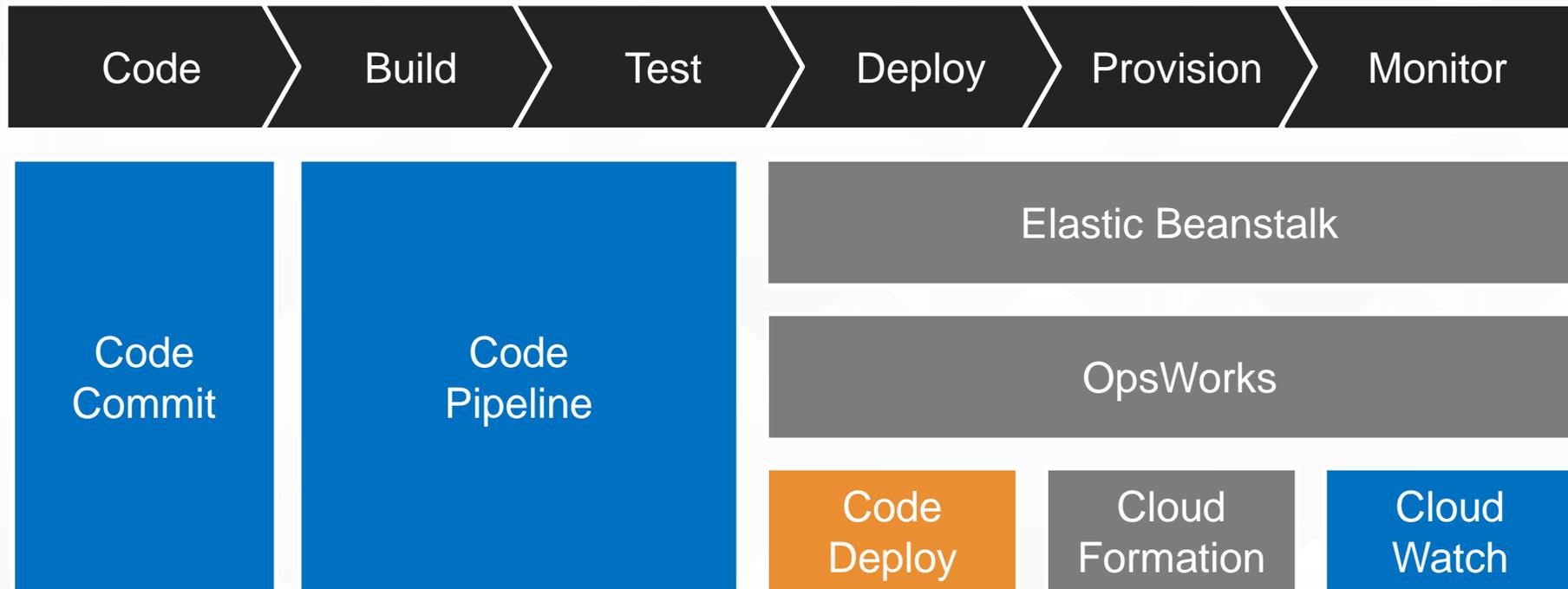


③ レシピ実行、または  
ライフサイクルイベン  
トによる自動実行



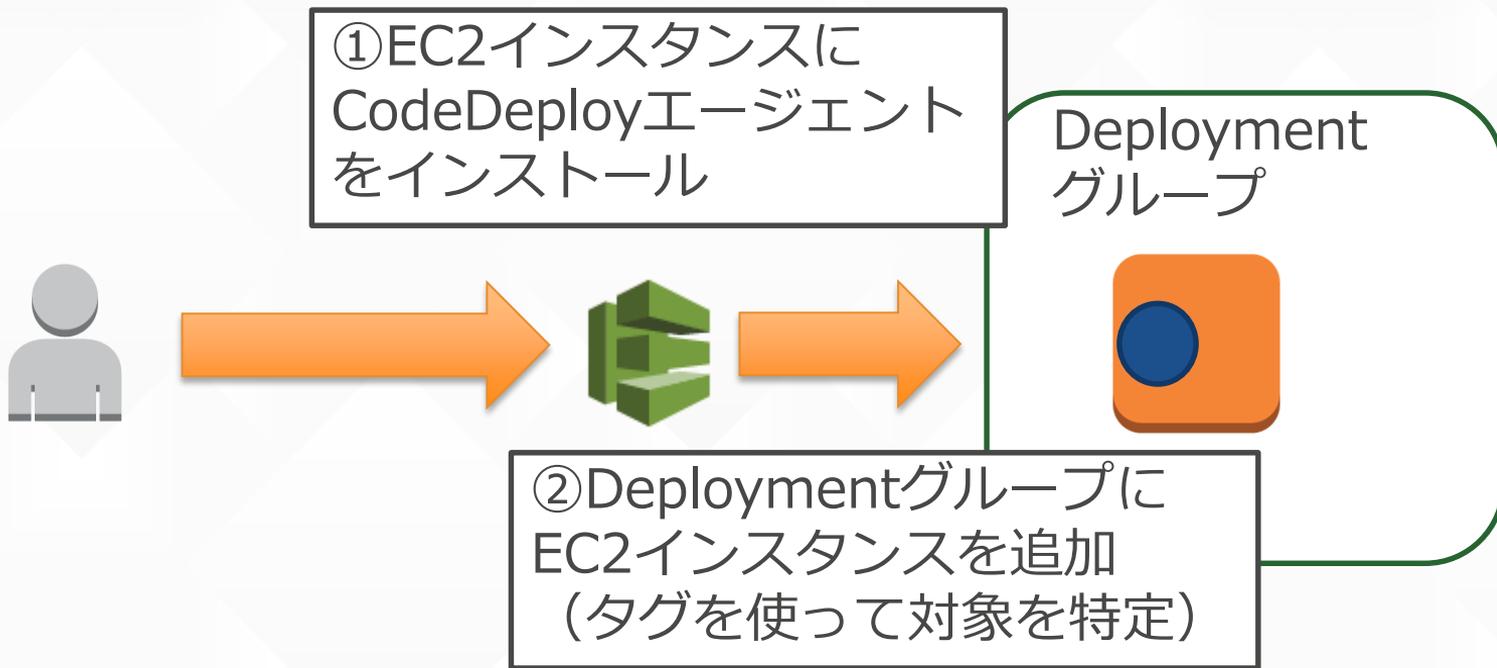
# AWS CodeDeploy

# AWSから提供されているデプロイ&マネージメント 関連サービス





# CodeDeployによるデプロイのための事前準備





# CodeDeployによるデプロイ

デプロイ

② Deployment Groupに  
デプロイ

③ CodeDeployエージェント  
がpolling

デプロイ担当者

開発者

① WordPressに  
AppSpecファイルを  
含める

④ GitHubからソースコードバ  
ンドルを取得してデプロイ



# Deployment Configuration

どれを  
デプロイするか？

Revision 1

Revision 2

Revision 3

▪  
▪  
▪

どうやって  
デプロイするか？

Deployment  
Configuration

OneAtATime

AllAtOnce

HalfAtATime

▪  
▪  
▪

どこに  
デプロイするか？

Deployment Group





# appspec.ymlのhooks

環境のカスタマイズ

hooks:

## BeforeInstall:

- location: scripts/install\_dependencies.sh  
XXXXX

## AfterInstall:

- location: scripts/change\_permissions.sh  
XXXX

## ApplicationStart:

- location: scripts/start\_server.sh  
XXXX

## ApplicationStop:

- location: scripts/stop\_server.sh  
XXXX

シンプルに既存の  
スクリプトを利用可能

# AWS CloudFormation + AWS CodeDeploy

- CloudFormationを使って、CodeDeployエージェントがインストールされたEC2インスタンスをプロビジョニング

プロビジョニング

継続的なデプロイ



AWS CloudFormation



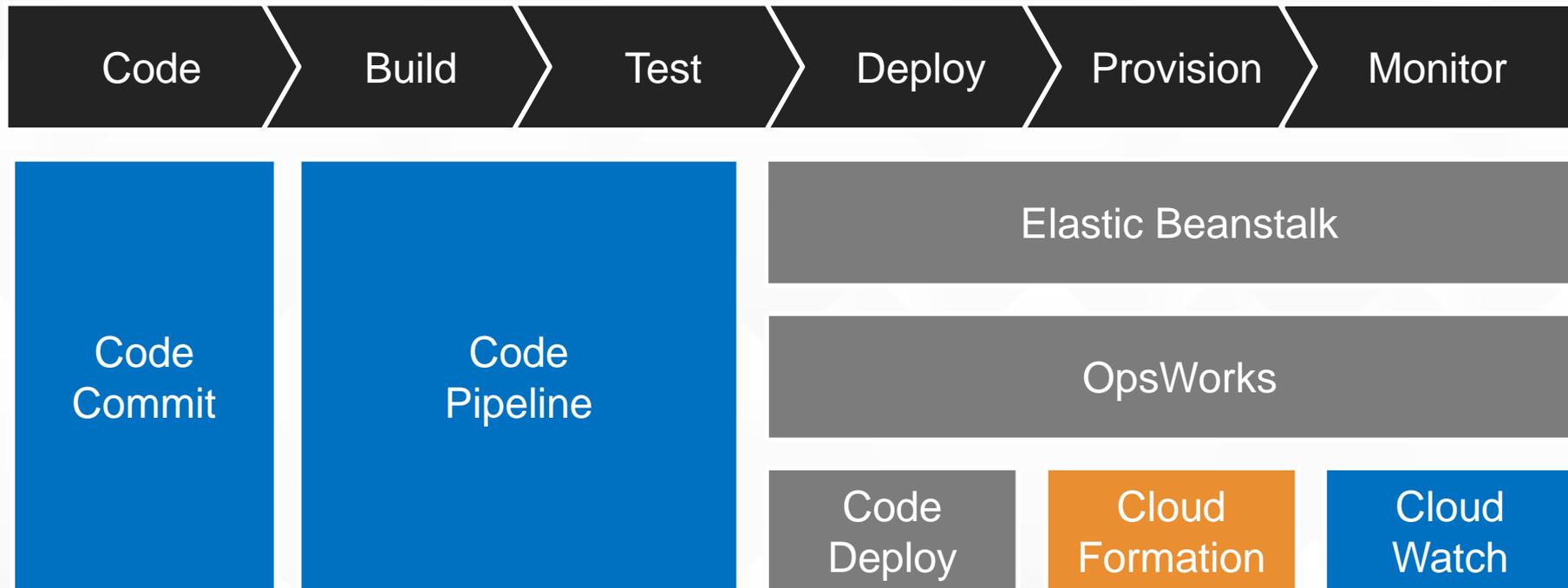
AWS CodeDeploy

※CloudFormationを使用しなくてもCodeDeployをご利用可能  
※CloudFormationではCodeDeployのDeployment Group等のリソースは未サポート（2015/6/2現在）



# AWS CloudFormation

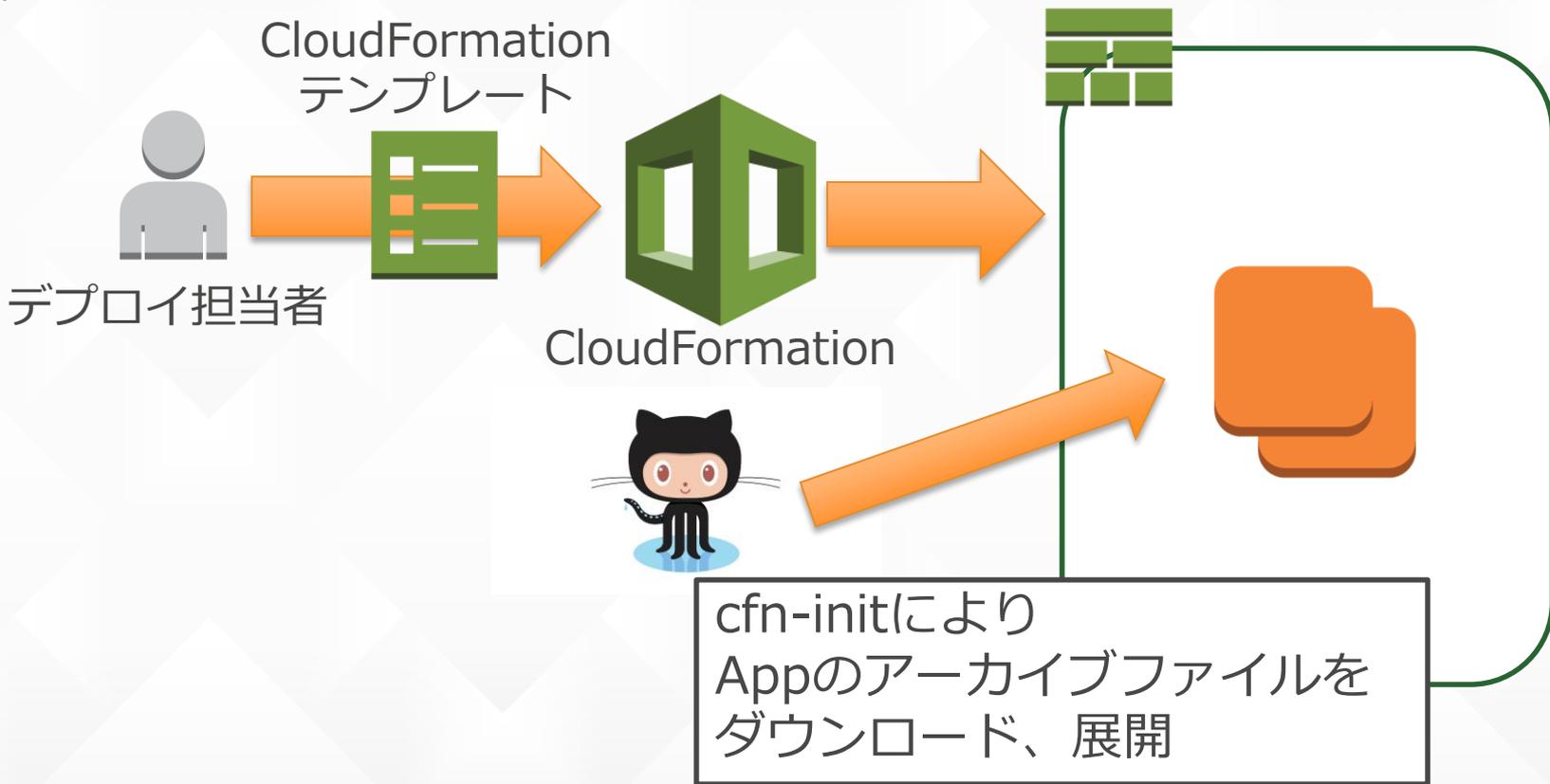
# AWSから提供されているデプロイ&マネージメント 関連サービス





# AWS CloudFormationによる プロビジョニングおよびデプロイ

プロビジョニング  
& デプロイ





# AWS CloudFormation Template

```
{  
  "AWSTemplateFormatVersion" : "2010-09-09",  
  "Parameters" : {  
  },  
  "Resources" : {  
  },  
  "Outputs" : {  
  }  
}
```

CloudFormation実行時に  
ユーザ入力を求める  
パラメータを宣言

CloudFormationで作成する  
AWSリソースを宣言



# AWS CloudFormation Template

```
"Resources" : {  
  "WebServer": {  
    "Type" : "AWS::EC2::Instance",  
    "Metadata" : {  
      "AWS::CloudFormation::Init" : {  
        "configSets" : {  
          "wp_install" : ["install_wp", "configure_wp"]  
        },  
        "install_wp" : {  
        },  
        "configure_wp" : {  
        }  
      }  
    }  
  }  
  .  
  .  
  .  
  .  
}
```



# AWS CloudFormation Template

```
"install wp" : {
```

```
  "packages" : {  
  },
```

インストールするパッケージ名

```
  "sources" : {  
  },
```

WordPressのコードリポジトリ

```
}
```



# 環境のカスタマイズ

環境のカスタマイズ

カスタマイズ前の  
テンプレート



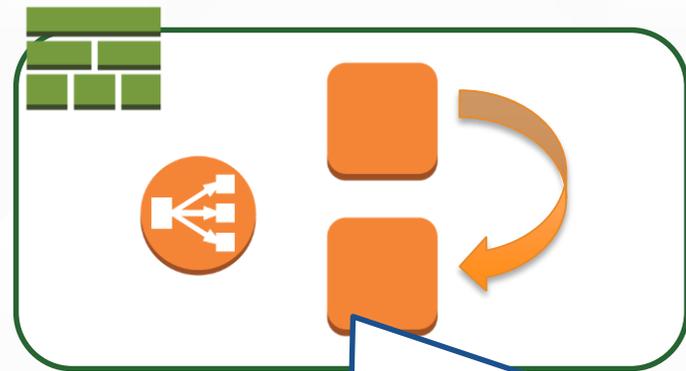
スタックの作成



カスタマイズ後の  
テンプレート



スタックの更新



更新対象となるリソースを  
置換・再作成

# 各種サービスの機能比較

	Elastic Beanstalk	OpsWorks	CodeDeploy	Cloud Formation
プロビジョニング	可能	可能	不可 既存のEC2インスタンスを利用可能	可能
デプロイ	Host Managerと連携して実行	OpsWorksエージェントと連携して実行	CodeDeployエージェントと連携して実行	cfn-initと連携して実行
環境のカスタマイズ	Configuration Fileを活用	カスタムレシピを活用	appspec.ymlを活用	Templateを活用



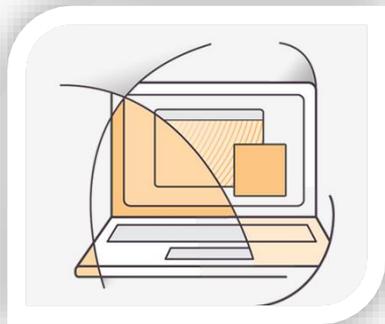
# まとめ

# まとめ

- デプロイ&マネージメントサービスを活用することで、簡単にデプロイ自動化が可能
- それぞれのサービスでデプロイ手順は異なる
- お客様のシステムの要件と照らし合わせて最適なサービスを活用すべき



# AWSトレーニング @ AWS Summit Tokyo

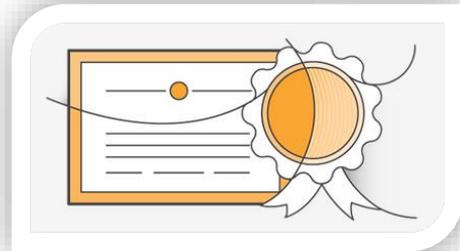


## セルフペースラボ : @パミール1F 瑞光

AWS クラウドに実際に触れてみませんか？  
ご自分の AWS アカウントをおつくりいただけなくても、  
AWS クラウドを体験いただけます。

## AWS認定試験（有償） : @ パミール1F 黄玉

特設認定試験会場を AWS Summit Tokyo 2015 会場に開設  
Devopsエンジニア-プロフェッショナル認定試験を先行受験いただけます。



## AWS認定資格者取得専用ラウンジ : @ パミール1F 青玉

他の AWS 認定資格をお持ちの方とのネットワーキングにぜひラウンジをご活用  
ください。  
お席や充電器、お飲物などを用意し、皆様をお待ちしております。



Thank You